mame-eco

コーヒーかす再利用プロジェクト

Winter, 2020. Vol.2

季節も移り変わり、本格的な冬の寒さになってきました。

この活動も6ヶ月が経ち支えてくださる方もさらに増え、お陰様で**2トン半**のコーヒーかすを農園で、活用してもらっています。

mame-eco のウェブサイトより活動をサポートいただいている、各カフェ や店舗などのリストを掲載させていただきました。

皆様のご協力に大変感謝しております。

コロナ禍が長びく中で皆様におかれましても今までに無い一年となったことと思います。更なる感染拡大を防ぐ為にも、これまで以上にお気をつけ頂き、 良いお年をお迎えください。

2021年が皆様にとって健康で素晴らしい年になりますことを、心より 願っております。

mame-eco

ブルーム ゲーリー・順子

ウェブサイト www.mameeco.org

問合せ mameecokyoto@gmail.com

回収量

9月 10月 11月 **525**kg **530**kg **540**kg

3ヶ月合計 **1,595**kg

累計 **2,525**kg

※コーヒーかすとペーパーフィルターを含む重さ



農家さんご紹介

美土里ファーム(みどりファーム) 代表 チャック・ケイザーさん



京都から50キロほど離れた滋賀県山間部の朽木(くつき)で4地区の休耕地を使用し無農薬農業を実践し、地域やボランティアとの連携システムで農園をされています。

コーヒーかす以外にも京都市内の公園や神社仏閣より回収した大量の落ち葉を混ぜ 込み堆肥化させ、農園で使用しています。

この2つ(コーヒーかすと落ち葉)のレシピの堆肥は、私の農園にとってゴールドのような存在だよ、とチャックさんは絶賛しています。安全で美味しい野菜を作る農園を目指し、土づくりや自然環境にとてもこだわっています。

ウェブサイト: www.midorifarm.net





ここでも活用

コーヒーかす

京都市内の公立幼稚園の園庭の一部にコーヒーかすを散布し、猫の侵入と糞尿被害を軽減するために、役立ててもらっています。

コーヒーチャフ (豆を焙煎した際に出る薄皮)

コーヒー豆の焙煎所や自家焙煎カフェよりコーヒーチャフを回収し、亀岡の王子楽遊農園で飼育されているニワトリの飼育小屋内の寝床に敷きつめ、使用後は畑の土と混ぜて堆肥化させて、農園でフル活用されています。

